

平成 20 年度地域密着型金融の推進

当金庫は平成 20 年度も引き続き「地域密着型金融の推進」に積極的に取り組み、概ね下記の実績を上げることができたのでご報告いたします。

1. ライフサイクルに応じた地域の取引先企業への支援

「創業・新事業支援融資」実績は 10 件 38 百万円であった。

「経営改善支援等取り組み実績」 中小企業診断士と契約し支援体制を組む中で、営業店・本部が一体となり、98 先に対して経営改善支援を取り組んだ結果 6 先(6.1%)がランクアップした。

「きっかけ融資推進キャンペーン」の効果により年度末の貸出金残高計画を達成した。その中で、中小零細事業先融資先数が年間 75 先（6%）増加し、中小企業融資金額も 3,812 百万円（12.13%）増加した。

2. 事業価値を見極めた融資手法並びに中小企業に適した資金提供手法の実践事例。

(不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資の取り組み事例)

新商品「ニュービジネスローン」を平成 20 年 3 月～9 月まで実行予定金額 1,500 百万円の限定にて取り扱った。

実績は 127 件、1,497 百万円(平成 21 年 3 月末時点 118 件 1,055 百万円に対して延滞 1 件 6 百万円)であった。

(地域内中小企業の健全化（再生）支援の取り組み事例)

新規先で他行の条件緩和債権を含む借入金の一本化による資金繰りの円滑化を図った（顧問税理士と金庫が協力してキャッシュフローを生み出す経営改善計画を策定し 5 金融機関の借入金を一本化した）。

3. 地域活性化に繋がる多様なサービスの提供

営業店の近隣商店街が、地域を魅力ある町にしようとの主旨でイベントを計画、営業店も発足当時から運営会議に参画し、イベント当日は模擬店などを担当し収益金を地域の社会福祉協議会に寄付している。商店会、地域住民より共存共栄の理念を標榜する地域金融機関であるとの評価を得ている。

経営改善支援の取組み実績

【平成20年4月～平成21年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善 支援取組 み先数	うち			経営改善 支援 取組み率 /A	ランク アップ率 /	再生計画 策定率 /	
			のうち 期末に債務者区分 がランク アップした 先数	のうち 期末に債務者区分 が変化し なかった 先数	のうち 再生計画 を策定し た先数				
正常先	3,594	6		4	1	0.20%		16.70%	
要注意先	うちその他要注意先	517	85	6	77	3	16.40%	7.10%	3.50%
	うち要管理先	9	1	0	0	0	11.10%	0.00%	0.00%
破綻懸念先	47	5	0	5	0	10.60%	0.00%	0.00%	
実質破綻先	59	1	0	1	0	1.70%	0.00%	0.00%	
破綻先	6	0	0	0	0	0.00%	-	-	
小計(～の計)	638	92	6	83	3	14.40%	6.50%	3.30%	
合計	4,232	98	6	87	4	2.30%	6.10%	4.10%	

(注) 期初債務者数及び債務者区分は20年4月当初時点で整理。

- ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでおりません。
- ・には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。
- ・なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はには含んでおりますがには含んでおりません。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はには含んでおります。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しております。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表には含んでおりません。
- ・には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。
- ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しております。
- ・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」